

1. 体裁

- (1) 和文原稿は常用漢字及び現代仮名を使い、数字は算用数字、外国語は英文とする。原稿はA4判で、PC (MS-Word 又は一太郎) で作成し、原稿用紙の場合は正体で清書して提出する。英文原稿の事項は以下の和文原稿に準ずる。
- (2) 和文原稿は、A4判48字50行(1頁原稿用紙6枚分)で縦書き横書き左右上下20mm開けて作成する。
- (3) 原稿のフォントは原則10ポイントとし、書体は和文用文字フォントはMS明朝、英数字用フォントはTimes New Romanとする。文の語尾は「である調」とする。
- (4) 一般論文は以下の順に記述する。
 - 1) 1項目：表題、著者名、英文の表題・著者名、その後には所属・住所とする。著者が複数の時は氏名の右上に番号をつけて、その番号順に所属・住所または自宅住所を付記する。所属・住所の英文表示は任意とする。住所の県名と市名が同一の時は県名は省略する。
例) 青森太郎¹⁾・八戸次郎²⁾・弘前三郎³⁾
Tarou Aomori, Jirou Hachinohe and Saburo Hiroasaki
1) 八甲田研究所 〒012-3456 青森市八甲田山111 *青森市の場合の青森県は省略する。
2) 種差大学 〒012-3456 青森県八戸市はちのへ111
3) 〒012-3456 青森県弘前市岩木山111
 - 2) 2項目：要旨 (Abstract), Key words .
 - 3) 3項目：本文。
 - 4) 4項目：図表。1頁に1点として、本文末端に図版タイトルを一括にしてまとめる。
- (5) 短報は、一般論文に準ずるが、概ね表題、著者名、所属・住所、Key words、本文の順とする。なお、表題、著者名の英文表示は任意であるが、付記することが望ましい。
- (6) 表題等の表記
 - 1) 表題中の地名には府道県名を、和名には学名を付記することが望ましい。なお、表題に学名を記述するときは命名者・記載年の記述は原則省略する。
 - 2) 共著の執筆責任者の表示は任意とし、表記するときは氏名右上に番号をつけ所属・住所に続けて執筆責任者と表示する。また責任連絡先アドレス等の記述は任意である。
 - 3) 要旨 (Abstract) の記述は任意で必須ではない。記述の時は、要旨と表示して、本文の内容がわかるように簡潔に記述する。本文中の図表、引用文献は原則要旨では引用しない。
 - 4) Key words の記述は必須で、和文 (英文) 形式の5語前後が望ましい。和文と英文を列記しても良い。表題に府道県名が無いときは、Key words の1語として記述することが望ましい。
 - 5) 会誌は奇数頁上欄外には著者名、偶数頁上欄外にはランニングタイトルを記述する。ランニングタイトルは通常表題とするが、特に略記希望するときは和文で20字以内、英文で50字以内で、1項目にランニングタイトル希望と表示し：を付記して記述する。1行以上の主題は略記が望ましい。
- (7) 本文等の表記
 - 1) 学名の表記は以下に従う。
 - ・学名の表記は、概ね命名規約 (動物、藻類、菌類、および植物、原核生物) とその勧告に従う。
 - ・表記は、学名、命名者、記載年を原則とし、学名はイタリック体とする。
 - ・記載者名はロマン体としスモールキャピタルを用いない。
 - ・命名者及び記載年はできるだけ記述が望まれるが、各分類群による一般的な表記でも良い。
 - ・命名者が複数の時は、最後の著者名を「&」で結ぶ。なお、「et」は使用しない。
 例) *Vespertilio superans* Thomas, 1899 ヒナコウモリ
Harmonia axyridis (Pallas, 1773) ナミテントウ
Macaca fuscata (Blyth) ニホンザル
Coturnix japonica Temminck & Schlegel, 1849 ウズラ
Hylotelephium ussuriense (Kom.) H. Ohba var. *tsugaruense* (H. Hara) H. Ohba ツガルミセバヤ
 - 2) 本文中の動植物の和名には一度は必ず学名を付記すること。学名を付記した種名は二回目からは和名のみとする。和名の無い種については二回目から記載者・記載年を省略して学名を記述する。
 - 3) 本文の見出しは、該当箇所の1行目に、大見出し (はじめ、方法など) は中央に、中・小見出しは1, 1-1, 1), (1) の表記を順に付記しゴシック体で表記する。
 - 4) 本文の句読点は「.」「,」「:」「;」「・」を用いる。
 - 5) 各種括弧は、強調等に用いられる符号クォーテーションマーク「‘ ’」、ダブルクォーテーションマーク「“ ”」等、特に使用基準を設けないが、各括弧の使用及び順は一般使用に準ずる。
 - 6) 単位は原則国際単位系に準拠する。
 - 7) 和文の日付は、以下の例による。
例) 2013年11月11日; 2013.11.11.
 - 8) 英文の日付は、アメリカ式表記の月日年として月の表記は略さず表記する。なお、日付が下1桁の1, 2, 3の場合は1st, 2nd, 3rdとして、それ以外は〇〇thと表記しても良いが論文内では表記統一する。
例) January 1, 2023; January 1st, 2023
 - 9) 国名の英文表記は、英文で通常用いるものを原則とする。
例) ○ Japan, × Nippon; ○ United States of America, × USA
 - 10) ハイフンとダッシュは使い方が異なり、主に以下のように区別して使う。
 - ①ハイフン「—」: 複合名詞・動詞・形容詞等で、複数の語を繋ぐ時に使う。
 - ②ダッシュ: エム・ダッシュとエヌ・ダッシュの2種類があり、使い方が違うので注意する。
 - ・Em dash (エム・ダッシュ, ダッシュ (全角)) 「—」
本文の中で補足的な説明を表現するとき、該当部分に入れる。
例) 青森県の半島 — 津軽半島と下北半島 —
 - ・En dash (エヌ・ダッシュ, ダッシュ (2分)) 「-」
数字の範囲 (時間, 頁, 年月日等の区分) を示す時に使用する。

例) 2000–2022 年 ; pp. 1–10.

2. 文献

- (1) 文献は引用文献のみとして、参考文献は含めない。
- (2) 本文中の引用文献の表示は以下による。
 - 1) 本文中の引用文献は、引用箇所著者名、発行年を記述する。著者が2名の時は著者間に「・」(和文)又は「and」(英文)をつける。3名以上の時は第1著者に「ら」(和文)または「*et al.*」(英文)を付記して以下著者は省略する。

例) 青森 (2013) ; (青森, 2013) ; Aomori (2013) ; (Aomori, 2013)
青森・八戸 (2013); (青森・弘前, 2013); Aomori and Hachinohe(2013); (Aomori and Hirosaki, 2013)
青森ら (2013); (青森ら, 2013); Aomori *et al.* (2013); (Aomori *et al.*, 2013)
 - 2) 著者が同一者及び同一年の時は、年号の後に a,b,c を順次付記し区別する。

例) 青森 (2013a,b) ; (青森, 2013a,b) ; Aomori (2013a,b) ; (Aomori, 2013a,b)
 - 3) 引用文献が複数の時は、a,b,c 順、年代順としてまとめて表示する。

例) (青森, 2012 ; 八戸, 2013, 2014 ; 弘前, 2015a,b.)
- (3) 引用文献の項目の表示は以下による。
 - 1) 引用文献は本文最後にまとめる。配列は著者の a,b,c 順及び年代順とする。第1著者が同じ時は、単著文献、共著文献の順とする。
 - 2) 引用文献の記述は著者、(西暦)、論文名、記載誌、巻(号)、頁の順とする。
 - 3) 引用文献が共著の時は、執筆者全員の名前を省略しないで記述する。
 - 4) 著者が2名以上の時は著者間に「・」(和文)又は最後著者を「and」(英文)を付記して記述する。
 - 5) 引用文献を Web から引用したときは、最後に URL を記述し、その後に関連した年月日を「閲覧」または「Accessed」と付記して()内に記述する。
 - 6) 引用文献で投稿先で受理された印刷前の論文については、(印刷中)または (in press) と付記する。
 - 7) 英文名の記載誌はイタリック体とする。
 - 8) 引用文献の表記は以下の例による。

(単行本)
青森太郎 (2023) 岩木山の自然. 123pp. むつ出版, 青森. *総頁数は省略も可とする。
(単行本の分担執筆)
*引用が複数頁の場合
八戸次郎 (2023) 岩木山の動植物の分布. 青森太郎 (編). 岩木山の自然. pp.10–30. むつ出版, 青森.
*引用が1頁の場合
弘前三郎 (2023) 岩木山の植性図. 青森太郎 (編). 岩木山の自然. p.10. むつ出版, 青森.
(学会誌・雑誌等の論文)
弘前三郎 (2023) 岩木山の形成. 青森自然誌研究, 10(2): 1–10. *巻と号の時
青森太郎 (2023) 岩木山の地形. 青森自然誌研究, (25): 1–10. *号のみの時
八戸次郎・弘前三郎 (2023) 岩木山の景観. 青森自然誌研究, (25): (印刷中)
Aomori,T., Hachinohe,J. and Hirosaki,S. (2023) A new record of *Harmonia yedoensis* from Aomori prefecture, Japan. *Journal of the Natural History of Aomori*, (29): 1–10.
青森県 (2020) 青森県の希少な野生生物-青森県レッドデータブック (2020年改訂版).
https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kankyo/shizen/files/RDB2020_zenbu.pdf (Accessed;January,1.2023)

3. 図表

- (1) 図表は1点毎に作成し、原稿と図表は別々に提出する。
- (2) 図はコントラストをつけ、グラフ等は色濃淡でなく網掛けなど区別がつくように、灰色ではなく黒色で作成する。写真の解像度は 300dpi 以上で提出することが望ましい。なお、グラフ等を白黒印刷で希望の時は、カラーでなく必ず白黒で作成して提出する。
- (3) 表は、表中の文字・数字は印刷時に約 10 ポイントになることを想定し、XLS (XLSX) 形式で作成し提出する。書体は和文用文字、フォントはMS明朝、英数字用フォントは Times New Roman とする。
- (4) 表は「表 1」、図は「図 1」などの表記とし。本文と図表は同じ表記を使う。図表とは別に、その説明は別紙に一覧にまとめ図表と一緒に提出する。
- (5) 図表のカラー印刷も可能であるが、その経費は実費著者負担とする。

4. 脚注

- (1) 脚注を入れる時は、該当部分右上に半括弧を付け番号を付記する。
- (2) 投稿原稿の引用文献の次に脚注番号を付記し、脚注項目を列記する。
- (3) 印刷では、該当項目のある頁の下欄外に1段で入れる。

5. 投稿についての事項

- (1) メールや電子媒体での提出では、原稿は DOC (DOCX) 形式、JTD 形式で、写真・図は JPG 形式、PNG 形式で、表は XLS (XLSX) 形式で提出する。
- (2) メールで投稿するときは、1回の送付を 2MB 以内として、それ以上の時は分割して送付する。
- (3) 原稿、図表の PDF や Power Point は事務局での抜取・加工の編集が出来ないため使用しない。
- (4) 希望割付があるときは、欄外に場所を示し、原稿等とは別に提出する。割付は事務局で希望を参考にを行うが、事務局に一任とする。
- (5) 原稿は1段組で提出する。2段組割付は事務局で行うので、2段組では提出しない。
- (6) 投稿原稿及び図表等とは別に、原稿末に図表を入れ一つにまとめたものも併せての提出が望ましい。
- (7) 原稿執筆要領に準じない投稿原稿は、事務局編集担当者より査読者の意見と併せて著者に訂正等依頼する。

平成7年5月14日 制定, 平成 10.4.26; 12.4.23; 14.4.27; 15.4.20; 20.4.27; 21.4.26; 22.4.25; 27.12.10. 一部改訂
令和6年5月26日 再制定